

中世のいろいろな井戸が いっぱい!



井戸（白線）が密集する調査区

まつなし
松梨遺跡は、小松市北部の沖積低地に立地する大きな遺跡です。北陸新幹線建設に先立つ調査で、弥生時代～江戸時代にかけての断続的な営みを確認しました。



井戸の調査風景

発掘調査では、主に古墳時代の溝や奈良・平安時代の自然河川、平安時代末～室町時代の掘立ほったて柱建物はしらたてものや井戸、竪穴状遺構たてあなじょういこうなどを確認しました。中でも、鎌倉時代から室町時代の遺構は溝で区画された範囲に密集しており、建物や井戸が何度も同じ場所で作り返された様子がわかりました。井戸には縦板組たていたぐみの井戸枠や曲物まげもの・結桶ゆいおけを利用した水溜みずだめが残っているものもありました。

現在でも地下水がわき出してくるため調査は大変でしたが、豊富な水資源が得られたからこそ長期間にわたって集落が営まれたものとみられます。



H29 発掘調査

しまいせき こまつし
島遺跡 [小松市]

島遺跡は JR 粟津駅から南東に約 1 km の月津台^{つきづだい}地の東縁に位置している集落遺跡です。昭和 58 年と平成 7 年の調査では、奈良・平安時代（8 世紀後半～9 世紀前半）の掘立柱建物や竪穴状遺構^{ほったてはしらたてもの たてあなじょうい}の他に、土師器^{はじき}、須恵器^{すえき}、須恵器の硯^{すずり}、土馬^{どば}、鍛冶関連遺物などがみつかっています。今回は北陸新幹線建設に先立ち発掘調査を実施しました。

調査の結果、古墳時代末から室町時代までの建物を確認しました。古墳時代末から奈良・平安時代では 3 棟の側柱建物と溝がみつかりました。特に奈良・平安時代では、2 棟の建物と区画溝が整然と配置されていることから、計画的に建てられたことが明らかになりました。また、柱穴の底には硬化した白色粘土が認められることから、根固めに使用されたと考えられます。

鎌倉・室町時代では、総柱^{そうばしらたてもの}建物を中心に 10 棟、井戸 2 基、溝を確認しました。また、焼土を入れた土師器皿^{まいのう}を埋納した小穴がみつかり、地鎮^{じちん}などの祭祀^{まつり}を行っていたことが考えられます。

遺物は古墳時代末から平安時代の土師器や須恵器を中心に、平安時代の瓦、鎌倉時代の土師器皿、加賀焼^{かがやき}などが出土しました。他に、鍛冶作業で生じた鉄滓^{てつさい}もみつかりました。

今回の調査により、古墳時代末から室町時代の建物を確認したことで、調査区一帯が長期にわたり居住域として利用されていた様相が明らかになりました。



調査区遠景（南西から）



II 区全景（南から）



奈良・平安時代の側柱建物（北から）



土師器皿を埋納した小穴（鎌倉・室町時代）



柱穴底面の白色粘土（奈良・平安時代）

H29 発掘調査

しょう にしじま いせき つばくらはいじ かがし
庄・西島遺跡、津波倉廃寺 [加賀市]

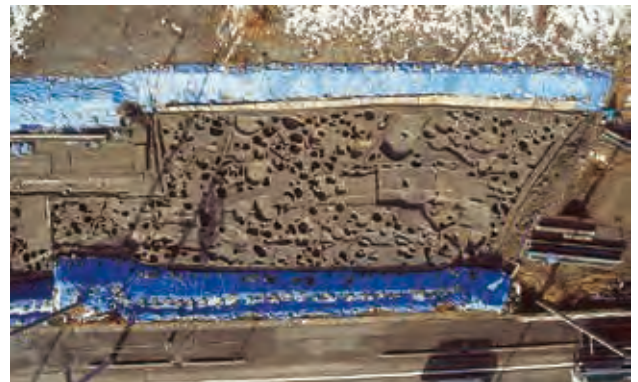
庄・西島遺跡は江沼盆地のほぼ中央にあります。その範囲は現在の庄・西島・七日市・桑原・津波倉・二子塚の6つの町域に及び、古代江沼郡の中でも有数の広範囲に展開した集落遺跡です。古代寺院（津波倉廃寺）を含むと考えられていますが、未だ堂舎や区画施設はみつかりません。平成29年度は27・28年度に引き続き、国道8号改築（加賀拡幅）工事に先立つ発掘調査を実施しました。

調査の結果、これまで未調査であった遺跡東端部にあたる桑原町地内（S区）で、特に多数の柱穴や土坑などを検出しました。本遺跡では従来知られていなかった高い密集度であり、これまでの調査地点と比べるとその差は歴然としています。遺構が密集した要因として、この地区ではすでに7世紀に集落が形成されていたことがまず第一にあり、その後の展開の中で、井戸や大型の土坑、畝溝群など、他での検出例が乏しい遺構が設けられていったことなどがあげられます。こうした所見はこの地点が集落の形成から発展の核であり続けたことを窺わせるものであり、遺跡全体の展開を考える上で重要な手がかりが得られたものといえます。

調査ではS区を中心に古墳時代末から平安時代後期にかけての土師器や須恵器が多数出土し、古代の瓦片も各区から散発的に出土しました。珍しいものとして、西島町地内（R1区）の古代末頃の井戸内から、石製の帯飾り具（蛇尾）が1点みつかりました。



調査区遠景（北東から）



古代の遺構が密集（桑原町地内、S3区）



古代の井戸（手前）、畝溝群（奥）など（桑原町地内、S4区）



古代の遺構群（七日市町地内、G2区）



古代の河川跡（西島町地内、R1区）

H29 発掘調査

かなざわじょう かまち いせき
金沢城下町遺跡

ほんだ しやしきあとちく
(本多氏屋敷跡地区) [金沢市]

調査地は、金沢市出羽町の「本多の森公園」の一角、県立美術館と県立歴史博物館の間に位置します。発掘調査は、現在東京都千代田区にある「東京国立近代美術館工芸館」の金沢市へ移転整備にともない実施されました。

江戸時代、この場所には加賀藩重臣の本多家の上屋敷が置かれていました。加賀藩の重臣は「加賀八家」と呼ばれましたが、中でも本多家は、筆頭の家禄（5万石）を有したことが知られています。

その後明治時代には、陸軍の出羽町練兵場として、広範囲に削平・整地が行われており、のちに第9師団長官舎（現在の県立美術館敷地内）、兵器庫も建設されています。兵器庫は現在、国の重要文化財に指定されており、第2次大戦後に金沢市立美術工芸大学、その後県立歴史博物館として使用されています。また、今回の発掘調査区内には美術工芸大学の工芸デザイン実験棟も建っていました。

発掘調査では、多くの場所でこれら近代以降の開発による削平、攪乱の跡がみつけられました。その中で、調査区東側では掘立柱建物が、西側では井戸や土坑がみつけられ、少量の陶磁器が出土しました。今回確認した遺構は、本多氏上屋敷にともなう何らかの施設と考えられます。今後、絵図や文献等の検討も加え、その性格を探っていく必要があります。



調査区遠景（奥に卯辰山を望む）



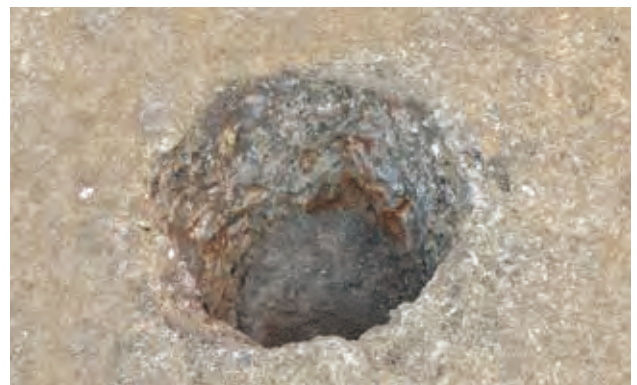
調査区と県立歴史博物館（後方）



掘立柱建物



発掘作業風景



井戸

H29 古代体験

個人随時体験 『弥生のはたおり体験』

冬季の随時体験として、平成30年2月10日（土）～3月2日（金）に「弥生のはたおり体験」を行いました。織機おりきによる布づくりは弥生時代から始まったと考えられており、その頃の織機は「原始機げんし」と呼ばれています。原始機の部品は遺跡から出土していますが、一組そろっての出土はまだないようです。

体験では、復元した原始機を使って、タテ（経）糸の上糸と下糸の間に、ヨコ（緯）糸を通して交差させることのくりかえしによって布を織りあげていきます。タテ糸に加えてヨコ糸も操る細かな作業で、常に集中力が求められる体験ですが、参加者のみなさんは布ができるしくみを学びながら根気よく織っていきました。



タテ糸にヨコ糸を差し込みます

H29 古代体験

古代体験学習講座 『弥生の布と服づくり』

第6回の学習講座として、平成30年3月11日（日）に「弥生の布と服づくり」を行い、16名が参加しました。最初にガイダンスとして、布の歴史について解説し、縄文時代の「アンギン」、弥生時代の「原始機げんし」、古墳時代以降の「地機じばた」「高機たかはた」などにふれました。その後、復元した原始機を使って布づくりを行いました。タテ（経）糸の上糸と下糸を交互に上下させながらヨコ（緯）糸を通して布を織りあげていきました。

午後からは、麻布あさぬのを使って、弥生時代の衣装とされる「貫頭衣かんとうい」を製作しました。幅40cm、長さ160cmの麻布を2枚、カラムシ糸を使って縫い合わせました。参加者からは、布づくりだけではなく糸づくりや整経（タテ糸を整える作業）もしてみたいとの意見もあり、衣に係る古代体験の人気の高さを改めて知ることができました。



カラムシ糸で麻布を縫います



貫頭衣の完成！

H29 古代体験

古代体験学習講座 『縄文狩人体験』

平成 29 年 12 月 3 日（日）、小学生、中学生、そして好奇心たっぷりの大人も参加し、縄文時代の狩猟や動物の利用について学びながら、当時の暮らしに思いをはせました。まず、縄文人にならい鹿角を使って黒曜石で石鏃をつくり、鳥の羽根をつけて矢を完成させました。石鏃の形をイメージ通りにしたり、柄に糸を巻いて羽をとめつけるのは難しかったですが、弓を使ってできた矢を飛ばす時には、みなさん楽しそうでした。

午後は獲物のニホンジカの角からアクセサリーをつくりました。あらかじめ煮て少し柔らかくした角を石で削り、表面に模様を掘り込み、お気に入りの首飾りができあがりしました（ストラップなどにも使えます）。最後に黒曜石で切った肉を入れた鍋をほおばり、縄文人の 1 日が終わりました。



石鏃製作中



矢を射っているところ



縄文狩人全員集合！

H29 情報発信

発掘報告会 『いしかわを掘る』

平成 30 年 3 月 4 日（日）、石川県立美術館ホールで、県内各地で実施された 6 遺跡の発掘調査成果が報告されました。国内最古の出土例となる「柄付き鉄製鉈」が出土した、弥生時代中期の小松市八日市地方遺跡や、古墳時代前期の銅製品の鑄造炉が初めて確認された加賀市八日市遺跡など、新しい発見や貴重な成果が参加者の関心をひいていました。

羽咋市柳田シャコデ廃寺跡や野々市市末松廃寺跡の報告について「古代の寺院に興味をもった」「廃寺跡を実際にみてみたい」などの感想が寄せられ、両廃寺跡に共通して確認された幢竿支柱の存在に興味を感じた方が多かったようです。小松市大領遺跡の古代北陸道や中世の道路の報告では、地域の歴史や北陸道の位置などにも興味が集まり、質問も出ていました。また金沢城跡（鼠多門・鼠多門橋）の報告について、「復元が楽しみ」、「発掘の状況が伝わる熱い語り口」など聴衆の皆さんがこの報告会を楽しんでいる様子が伝わってきました。



多くの方が参加されました



末松廃寺跡の報告



質問に答える報告者

はかせ
博士にチャレンジ!

当埋蔵文化財センターは、今年で開館20年となり、普及啓発事業の新たな取り組みとして、「石川まいぶん博士」事業を行うことになりました。小学校4年生から中学生を対象として、古代体験学習や展示見学など参加することでポイントを集め、「石川まいぶん博士」に認定するものです。県と県内市町の「まいぶん」に関係する諸施設と連携することで、より広い地域の児童・生徒に、歴史体験する機会を作ることができました。これまでより多くの人が古代体験できることが期待されます。

STEP 1



まいぶんの施設でポイントゲット

STEP 2



石川県埋蔵文化財センターに申請
ポイントカードを持参または郵送

STEP 3



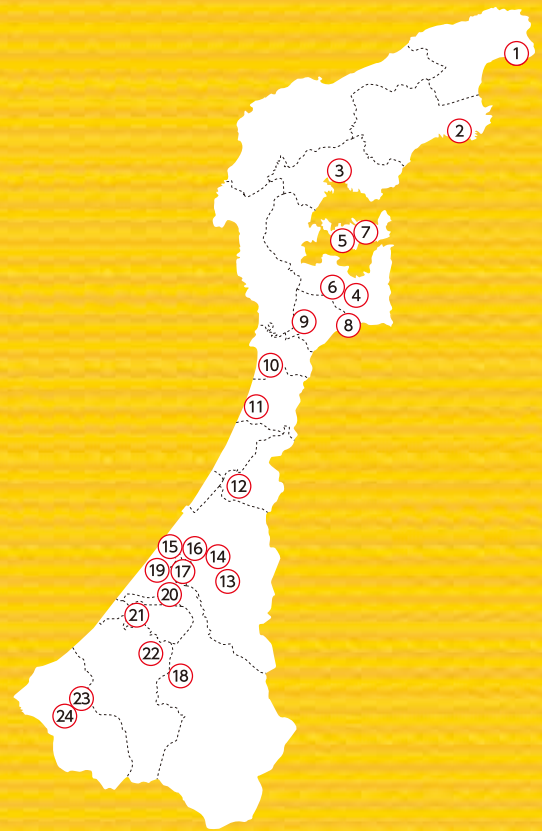
石川まいぶん博士認定証と景品を郵送
20ポイント、30ポイントでレベルアップ

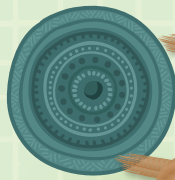
ルール

詳しい内容や最新の情報は、石川県埋蔵文化財センターホームページで見ることができます

- 小学4年生～中学生がチャレンジできます
- 学びポイント📖と体験ポイント🏺があります
- 体験や見学などで、ポイントカードにスタンプ
- 複数のポイントカードをひとつのカードにまとめることはできません
- 10ポイント(学び2ポイント以上)で📖まいぶん博士
- ★📖まいぶん博士の2倍ポイントで🏺まいぶん博士
- ★📖まいぶん博士の3倍ポイントで🏺まいぶん博士
- 「博士」の申請は、石川県埋蔵文化財センターにポイントカードを持参あるいは郵送してください

施設名	住所	電話番号	入館料	休館日
① 珠洲焼資料館	〒927-1204 珠洲市蛸島町1-2-563	0768-82-6200	大人310 小中高150	年末年始
② 真脇遺跡縄文館	〒927-0562 能登町真脇48-100	0768-62-4700	大人300 小中高150	月・火・年末年始
③ 能登中居鎬物館	〒927-0015 穴水町字中居口-110	0768-56-1231	大人300 小中高150	月・年末年始
④ 能登国分寺展示館(9月まで)	〒926-0821 七尾市国分町リ9	0767-52-9850	高以上200	月・冬季
⑤ 須曾蝦夷穴歴史センター(9月まで)	〒926-0213 七尾市能登島須曾町タ	0767-85-2022	高以上100	月・冬季
⑥ のと里山里海ミュージアム(11月～)	〒926-0821 七尾市国分町イ部1	0767-57-5100	無料	年末年始
⑦ のとじま伝承の館 自然の里ながさき	〒926-0211 七尾市能登島町向田町ろ部8-1	0767-53-8437	-	-
⑧ 石動山資料館	〒929-1812 中能登町石動山ラ1-2	0767-76-0408	大人200 小中高100	火・冬季
⑨ 雨の宮能登王墓の館	〒929-1601 中能登町西馬場7-12	0767-72-2202	大人200 小中高100	火・冬季
⑩ 羽咋市歴史民俗資料館	〒925-0000 羽咋市鶴多町鶴多田38-1	0767-22-5998	無料	月・年末年始
⑪ 宝達志水町埋蔵文化財センター	〒929-1343 宝達志水町小川ハ249-1	0767-28-5180	無料	土・日・祝
⑫ 津幡町ふるさと歴史館 れきしる	〒929-0326 津幡町清水リ1-1	076-288-2101	100	月・年末年始
⑬ 石川県埋蔵文化財センター	〒920-1336 金沢市中戸町18-1	076-229-4477	無料	12/28～1/3
⑭ 石川県立歴史博物館	〒920-0963 金沢市出羽町3-1	076-262-3236	HPで確認	HPで確認
⑮ 金沢縄文ワールド	〒920-0374 金沢市上安原南60	076-269-2451	無料	月・年末年始
⑯ 新保本町埋蔵文化財収蔵庫	〒921-8062 金沢市新保本5丁目48	076-240-2371	無料	月・年末年始
⑰ 野々市市ふるさと歴史館	〒921-8801 野々市市御経塚1丁目182	076-246-0133	無料	月・年末年始
⑱ 白山市立鳥越一向一揆歴史館	〒920-2368 白山市出合町甲26	076-254-8020	大人300 中以下無料	月・年末年始
⑲ 白山市立博物館	〒924-0871 白山市西新町168-1	076-275-8922	大人200、高100 中以下無料	月・年末年始
⑳ 白山市文化財保護課	-	-	-	-
㉑ 能美市立歴史民俗資料館	〒923-1121 能美市寺井町を20	0761-58-6103	無料	月・年末年始
㉒ 小松市埋蔵文化財センター	〒923-0075 小松市原町ト77-8	0761-47-5713	展示100 高以下無料	水・年末年始
㉓ 法皇山古墳群収蔵庫	〒922-0313 加賀市勅使町	-	無料	12月～3月
㉔ 九谷焼窯跡展示館	〒922-0242 加賀市山代温泉19-101-9	0761-77-0020	大人310 小中高無料	火





まいぶん日誌



平成30年
3月～6月



「色・いろ・まが玉」
づくりしてみたよ



3月

春到来! 古墳や窯が
冬眠からめざめる!?



今年も満開



工房の机の配置をリニューアル

発掘の様子をみてみよう!



4月

ハイ、手形の
できあがり



畑仕事は
大変だ!

遠足で埋文センター
に来たよ!



5月



全て本物!!
土器のかげら

大人気!!!
出前考古学講座



縄文土器の野焼き中!!
うまく焼けるかな?



縄文土器づくり



縄文人の
くらしに
ふれてみました



よーくねらって!
矢よ当たれ!

落書きはしないでね



サトイモを植えるよ



穴グマの落とし物!?



手形・足形がズラーリ
1000枚以上!!



6月

考古学講座
古代の出土文字を考える



イエイ!!
縄文人になったよ



草刈りしてスッキリ!

